



—明治150年記念特別展—

# 明治・大正期の

# 箕島

有田市  
郷土資料館  
第1展示室

“昔の有田市箕島って、  
一体どんなまちなんだろう?”

講師を迎えて、記念講座も開催いたします。  
詳細は裏面にて。



先着来館者には、  
ポストカード(昔の箕島の風景)を  
ひとり1枚プレゼント!  
※数に限りがあります



安生寺と泉州谷川瓦  
—明治期の再建—

有田市郷土資料館  
第2展示室

平成30年 入館無料 [開館時間] 9:30~17:00 [休館日] 水曜日

9.29(土) ▶ 12.2(日)

有田市郷土資料館 (有田市文化福祉センター内4階)

同時期開催!!

写真パネル展  
~有田市と熊野古道~

平成30年 11.10(土)から

くまの古道歴史民俗資料館

木ノ本商店引札(個人蔵)

主催 有田市教育委員会

後援 有田市文化協会





# “昔の有田市箕島って、一体どんなまちなんだろう？”

箕島は、有田川の砂嘴の地が、「箕」の形に似ていたことからその名がつけました。江戸時代には、すでに回船の商売が盛んで「商いのまち」として成立していました。

その性格は、明治・大正期でも同様です。明治・大正期の正月用引札に目を向けると、呉服商・染物所・肥料店・金物商・菓子屋など、多くのお店が並んでいました。みかん農家もみかんを載せ船で有田川を下り、北湊の積み出し場（現・有田市港町）へ運びました。その帰りには、箕島へ寄って買い物をして帰りました。さらに、北湊には、みかんや陶器を輸送する船乗りが多く、時化で海へ出られないときは、箕島へ足を運んだといわれています。

本年は記念すべき「明治150年」にあたり、郷土資料館では、多くの人が集まる魅力的なまち「箕島」の明治・大正期の商売や生活に注目した展示を試みます。

## 記念講座

会場：有田市文化福祉センター3階(会議室)※各回とも

9月30日(日) 13:30～

●「紀州箕島物語」 有田市文化協会会長 成川 満 氏

10月6日(土) 13:30～

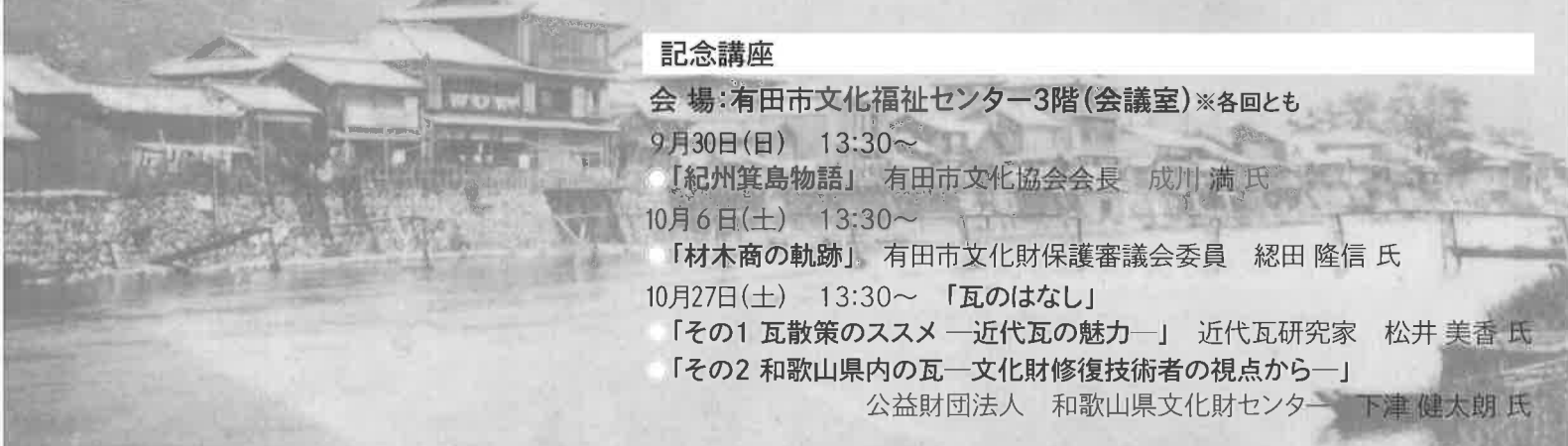
●「材木商の軌跡」 有田市文化財保護審議会委員 総田 隆信 氏

10月27日(土) 13:30～ 「瓦のはなし」

●「その1 瓦散策のススメー近代瓦の魅力ー」 近代瓦研究家 松井 美香 氏

●「その2 和歌山県内の瓦ー文化財修復技術者の視点からー」

公益財団法人 和歌山県文化財センター 下津 健太郎 氏



大鋸(くまの古道歴史民俗資料館)



## 有田市郷土資料館 第2展示室

# 安生寺と泉州 谷川瓦

## 明治期の再建

廃寺となってしまった安生寺(有田市糸我町)。明治期には、本堂の建て替えを行いました。そのとき本堂に葺かれた瓦は、泉州地方で作られていた谷川瓦でした。安生寺の瓦から有田市の谷川瓦のひろがりに注目します。

## 有田市郷土資料館

〒643-0304 和歌山県 有田市箕島27番地  
有田市文化福祉センター内4階  
JRきのくに線 箕島駅から南へ徒歩5分  
開館時間:9:30～17:00 休館日:水曜日  
お問合せ先:0737-82-3221



# 写真パネル展

## ～有田市と熊野古道～

展示資料:熊野古道写真パネル

## 記念イベント

11月10・11日 10:00～15:00

●和歌山県立箕島高等学校茶道部によるお茶会  
お茶券:200円(一席)



くまの古道歴史民俗資料館  
有田市糸我町中番330-2(糸我小学校横)